

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

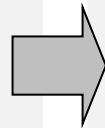
[kyouiku/sg6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html)

「朝の自由遊びの時間」
 幼児を縦割り班に編成し「協同性」(年長さんが1・2歳児さんに思いやりの心を育むなど)の基礎を培う活動を意図的に仕組まれています。
 ～中央保育所の活動から～

○幼児期の終わりまでに育てほしい姿

幼児期に育てほしい10の資質・能力

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現



小中高で育てほしい資質・能力と道徳的な項目

- (1)知識及び技能の習得
- (2)思考力・判断力・表現力等
- (3)学びに向かう力・人間性
- 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度(善悪の判断、節度・節制、親切、思いやり、礼儀、相互理解、寛容、規則の尊重、公正・公平・家族愛、生命の尊さなど)



幼児教育施設では、朝の8時から9時30分までの間、ホールの何か所かに遊具が用意されています。幼児は、その遊具場所に自由に集まり、遊びを通して、一日の活動を始めます。これは、すでに異年齢集団の活動を進めていることを意味し、特に、この遊びを通して、年下の子を思いやる気持ちなど道徳性を培う基盤が形成されています。素晴らしい取組の一つです。

○左記のように、幼児教育では10の資質・能力の基礎、小学校から高校までは3つの資質・能力と道徳的な項目を育てよう、進めることが求められています。

○特に、幼児教育施設や小学校では、行事での協力や様々な活動を行っていますが、今後は、一層、幼児教育施設と校種との連携や接続を図る取組について意図的、計画的に進めていることを、町民にもお伝えしていきたいと考えています。

○子供たちは、一人一人かけがえのない良さがあります。育てる側は、その一人一人の良さをしっかりと見抜いて、幼児から小学生に結ぶ話合いや活動を行うことが大切です。

コロナでの臨時休業への対応
えりも小で、児童とオンラインで授業を行いました。
○1年生から6年生まで、家庭でクロムブックを活用して勉強をしました。
○担任の先生の画面には、学級の子どもたちが映り、子どもたちは先生の説明を聞き、質問したり問題を解いていました。

○えりも小学校は、新型コロナウイルス感染症で複数の児童が陽性となったため、5月10日（火）から5月13日（金）までの間、学校閉鎖となりました。

○学校では11日から3日間、毎朝、画面上で全員が集まり、朝の会を行った後、9時と10時と11時からそれぞれ45分間の勉強を行いました。

○また、Wi-fi環境が整っていない家庭の児童には、同様のプリントを渡し学習に参加してもらいました。



○写真は、6年生担任の先生が、クラスの全員を見て一人一人と交信しながら指導しているところです。同様の取組は、えりも岬小学校でも行われました。児童一人一人、積極的に参加することができました。

クロムブックの児童生徒への配付状況

○現在、端末（当町は名称・クロムブック）は、小・中学校の児童生徒全員に渡されています。また、えりも高校については、現在、端末を発注し、2学期を目途に全員に渡され、教科などで活用する予定です。

○一人一人に与えられた端末は、どの児童生徒も丁寧に扱い、概ね破損や故障もなく活用されています。保護者のご協力に感謝します。

クロムブック使用の留意点

○学校では、学習活動を行うに当たって、児童生徒が端末を使用したほうが学習により効果的であると考えるときに用いています。

○あくまでも、教育機器は道具として使うことにしています。ある時には、辞書で調べたり、友達と考えを交流するなど、活用には十分配慮することが求められます。クロムブックがオンリーになることを避けることが大切です。

クロムブックの情報管理

○端末の活用にあたっては、児童や生徒が自由に検索して情報を得ることができることは、教育上、有害情報などを知ることから危険を伴います。

○そこで、学校では、クロムブックを活用するソフトのみで使用するよう、情報管理を行い、自由に検索することができない仕組みにしています。